

いしばしの魅力を未来につなぐ提言

石橋未来夢プラン2030推進会議

目次

はじめに

1. 石橋地域2030に向けた未来の夢	1
2. 石橋地域のまちづくりの方向性	2
子育て・教育関連施設等の充実	2
石橋地域の魅力向上	3
石橋地域施策図	4
個別施策	5
3. 主な中・長期的展望	6
4. 参考資料	7
推進会議の経過	8

はじめに

現在、日本の構造的な課題である少子高齢化や希望を生み出す経済には、未来を見据えた新たな国づくりが必要とされています。そんな中、石橋未来夢プラン2030推進会議は、公募による委員21名で構成し、平成28年2月から5回にわたり石橋地域の将来像について、検討してきました。

今、あらためて自分達の地域を見つめ、地域が抱える課題や将来あって欲しい未来像など、推進会議として、お互いの考え方や問題点などについて意見交換を行いました。

提言書作成にあたっては、石橋地域の強み・弱み、増やすべきもの、減らすべきもの、解決方策・方向性及び目標について意見交換などを行いキーワードを導き出しました。

そのキーワードにより、将来像の分類を行い、各分類の類似項目を統合・整理し、石橋地域の必要な取組みを検討し、当推進会議委員の意見をこの提言書にまとめました。

この提言を「石橋地域のこれからのまちづくり」にご活用いただければ幸いです。

平成28年3月29日

石橋未来夢プラン2030推進会議 委員

座長 堤 洋一
委員 明里 洋助
委員 秋山 芳樹
委員 入江 克徳
委員 大西 清
委員 角田 昌生
委員 金谷 和昭

委員 岸添 広一
委員 久保田 ひかり
委員 品田 強
委員 高貝 悦子
委員 中野 早苗
委員 中野 洋介
委員 名村 研二郎

委員 西村 禎雄
委員 樋口 多聞
委員 菱田 伊駒
委員 平安 孝至
委員 前田 貞洋
委員 松家 光史
委員 松本 純子

※五十音順(座長除く)、敬称略

1. 石橋地域2030に向けた未来の夢

子育て・教育関連施設等の充実

子どもと子育て世代が集まる いしばし

人が集い交流する愛着のある いしばし

石橋地域の魅力向上

2. 石橋地域のまちづくりの方向性

短期・中期・長期、それぞれの項目によって、それぞれの思いはあるが、未来の夢をもって出来ることからやっていく！を基本に意見交換を行い、各委員の意見をもとに、必要と思われることを全体会議の意見として取りまとめた。

子育て・教育関連施設等の充実

地域の拠点となる施設の整備等

- 石橋地域と北豊島地域の教育施設の有効活用
 - 石橋南小学校を教育施設や青少年育成として活用
 - 石橋南小学校にしかない施設として特化し、石橋中学校・小学校の児童生徒が集まる場所とする
 - 阪大生ボランティア(放パス)や学習塾との連携
 - 行政からの一部補助による阪大生の塾
 - グラウンドを活用したスポーツ関連の育成
- 石橋中学校・石橋小学校と石橋南小学校をつなぐ
 - 池高道の拡幅・整備
 - マイクロバスの運行
 - 箕面川の河川敷を整備しサイクリングロードとする
- 中間に位置する市民文化会館を総合教育施設として活用
 - 石橋小学校、石橋南小学校、北豊島小学校の連携を図る
- 石橋地域の学区を撤廃する
- 石橋南小学校を災害時の避難施設として活用
- 石橋駅前会館等を整備して総合センターとして活用
 - 小児科・産婦人科を含めた乳児から高齢者も利用できる幅広い総合センターとしての整備
 - 乳児医療など、幼児・子ども対象としての活用
 - 子どもから高齢者まで利用できる施設としての活用
 - 未来の子ども達のための「こども食堂」

石橋地域の魅力向上

地域の利便性の向上など

- ・交通の安全と利便性の向上

東西を分断している石橋駅構内を池田市民は東西改札を通行できるようなシステム

西国街道の拡幅整備

空港からサンロードと池田地域の観光施設を回るシャトルバスの運行

旭丘地域と石橋駅周辺の安全確保など池高道の拡幅・整備

箕面川の河川敷を歩道として整備

ファミリー層を増やす

- ・ファミリー向け住宅等の整備

空き家バンクなど民間とコラボしたリノベーション補助

石橋4丁目の市営住宅を改装し、若いファミリー世代を呼び込む

- ・子育て世代が集まるようにトイレなどに乳幼児のおむつ交換のための設備

商店街を中心とした整備・活性化

- ・サンロードを含む商店街の駐輪・駐車対策など

歩行者天国として自動車など通行禁止とし、自転車は降りて通行

マナー向上について呼びかけなど啓発活動

利用状況に応じた駐輪・駐車場の整備

今井水路を整備して駐車場などに活用

取締りの強化や罰則など行政の条例化や地域住民、事業者、利用者の協働

- ・商店街の禁煙ロード化

- ・商業の活性化

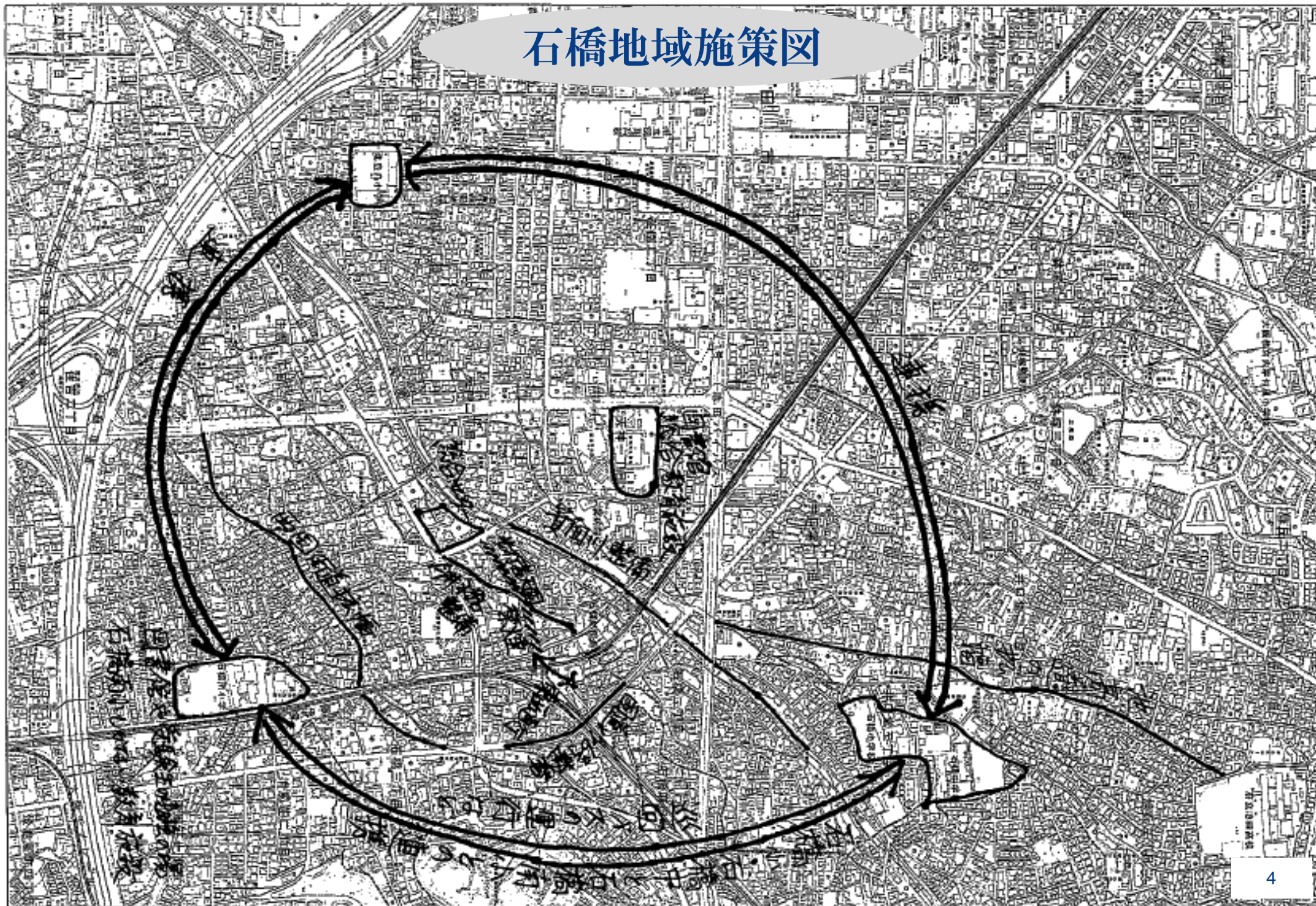
箕面川を活用した川床や川舟などによる商業活性

空き家バンクなど民間とコラボした商業のリノベーション補助

観光客向けの飲食の名物

おはこ市等、商店街のイベントや石橋地域の魅力を市内外への効果的な発信

石橋地域施策図



個別施策

子育て・教育関連施設等の充実

子どもカルチャーセンター(幼児・小学生向けの習い事テナント複合センター)
子ども総合センター(子連れで利用しやすいカフェレストラン、子ども食堂、図書館(絵本館)、ファミリーサポートセンターなど)
子育て世代のための教育関連施設(図書館等)
学生のための公共施設等を集約した教育関連施設や制度
学生の受験・進学に役立つ施設
石橋南小学校の子育て教育活用と子ども園の活性化
いしばし学園の北小・北中の交流
子ども達の安全対策と防犯レベルの向上
子育て世代に優しい条例・施策・補助金

基盤となる商業・住環境の形成

医療機関の充実と初出産の助成制度
小児科・産婦人科の増設
クルルいしばし保健室(健康相談)
石橋会館・石橋駅前会館など会館の整備活用
公共施設の見直し整備
コンパクトシティ構想の計画実行
コミュニティを充実させる趣味(無料)の集会場
ファミリー向けマンションの整備(駅周辺・市営石橋住宅等)
ファミリー向けマンションのリノベーション補助
大型店でなく小規模単位の店舗で産業振興
商業活性化のためのモノレール
家族で飲食できる店や若者のニーズにあった店の増加
阪大との連携強化による商店街の活性化
商店街店舗案内所・検索所
地域活性商店街(商業振興)条例の制定
特区制度のような大企業とのコラボレーションなど産業誘致
国道171号の高架下等含め駐輪場の建替え
阪急電鉄や国道176号の歪曲している高架の改修内容精査
再開発又は道路拡幅整備等
アクセスの整備(市営住宅周辺・駅東西)
有識者による街並みの方向性の決定と条例

駅周辺の魅力向上

サンロードを中心に綺麗にして下町の良さを出す
駐輪マナーの向上
駐輪対策 違法駐車・駐輪等(昼夜)の取り締まり強化
サンロード不法占用(看板・植木・自転車)の撤去
駐輪場・駐車場の整備(今井水路の整備など)
商店街の禁煙ロード化
学生などと連携した魅力ある花壇の整備
園芸高校のレストランを駅前に
飲食の名物
自治会・地域間の合同会議・合同イベント
来訪者向けのイベント
イベントスペースの確保
モノレール駅の誘致
路地を石畳にして回廊づくり
宿泊施設の誘致・増設

3. 主な中・長期的展望

再開発又は道路拡幅整備等

モノレール駅の誘致

アクセスの整備

阪急電鉄や国道176号の歪曲している高架の改修

駐輪場・駐車場の整備

路地を石畳にして回廊づくり

箕面川の河川敷を整備して旭丘地域と石橋をつなぐ

特区制度のような大企業とのコラボレーションなど産業誘致

ファミリー向けマンションの整備

イベントスペースの確保

宿泊施設の誘致・増設

4. 参 考 資 料

推進会議の経過

石橋未来夢プランは、地域住民の方々21名で構成された住民発意型の会議

地域住民だからわかる、地域の魅力・ポテンシャル、また、地域が抱える課題を抽出、整理し、将来あってほしい未来像を検討。

将来あってほしい石橋の未来像の実現に向け、魅力の向上と課題解決のため、地域にできること、また、未来像に向け池田市に取り組んでほしいことを石橋未来夢プランとして提言。

メンバー公募

H27.12.28-H28.1.15

第1回推進会議

(H28.2.2)

第2回推進会議

(H28.2.16)

石橋・細河両座長と市長懇談

(H28.2.23)

第3回推進会議

(H28.3.2)

第4回推進会議

(H28.3.15)

第5回推進会議

(H28.3.24)

21名の応募

応募者全員委員に決定

市長あいさつ

強み・弱みについて
グループ討議(4グループ)

強み・弱み、準備アンケートの検証
具体的な施策について検討
グループ討議(2グループ)

今後の進め方と方向性について

素案に基づく意見交換
未来像とそれに向けた3つの大きな目標の施策の統合・整理

統合・整理した施策の具体的な
方策等意見交換

最終確認

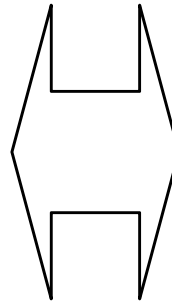
市長への提言(3月29日)

第1回推進会議(グループワーク)

第1回推進会議では、4つのグループに分かれて、「強み・弱み」について意見を出し合い、それぞれ発表・確認を行った。

強み

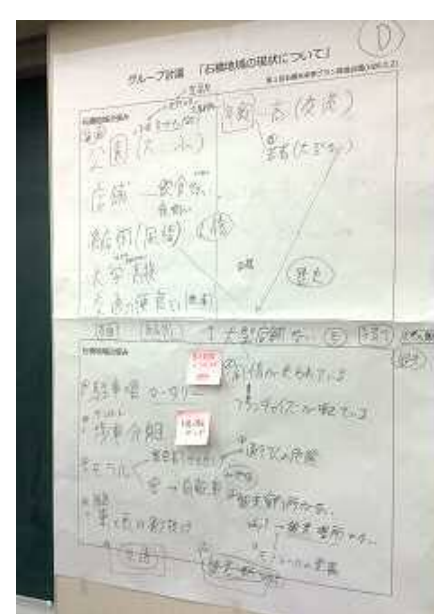
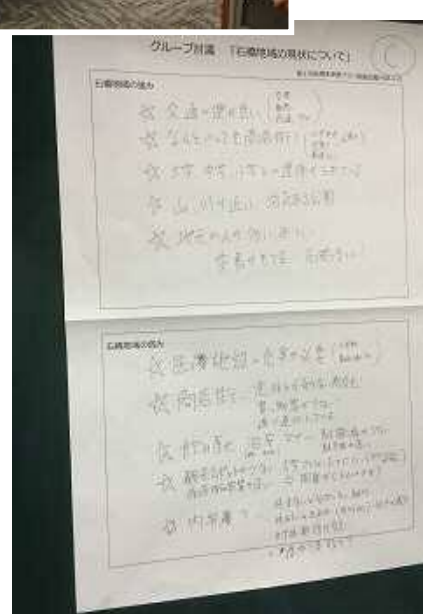
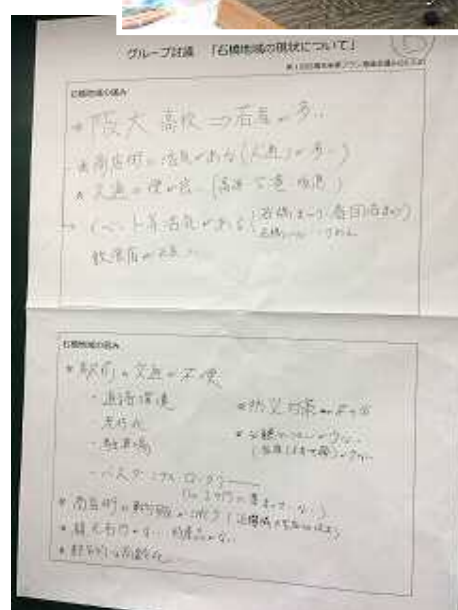
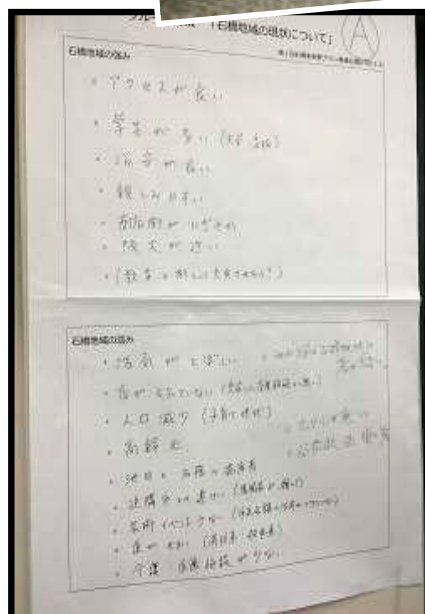
- 地元の人と若者が多い
- 阪大や園芸高校等の学生が多く元気
- 学生の街で小中学校も協力的
- 公園が多く、治安も良い
- 飲食店が多く美味しい店が多い
- 昔の風情があり、商店街が元気
- 愛着のあるイベントがある
- 習い事があり教育の充実で更に良くなる
- 緑が多く活気があり賑やか
- 夜も元気で商店街に動けるメンバーがいる
- 阪急・空港など交通の便が良い
- 伊丹空港のオリックス参入による活性化
など



弱み

- 学生がいなくなると活力が落ちる
- 治安とマナーが悪い
- 住民の交流の場がない
- 防災対策が不十分
- チェーン店が多く飲み屋街化している
- 古い家が多く、道幅も狭い
- 芸術のイベントが少ない
- 夜は子どもにとって怖い
- 市民文化会館が活用されていない
- 観光スポットや名所、特産品がない
- 主要道路で車と人が危険
- 住む良さはあるが对外発信が弱い
- 品物が全部揃わない
- 小児科など医療機関が少ない
- 駅周辺の駐車場不足
- 大型マンションが建て難い
など

【グループワーク(4グループ)】



第2回推進会議(グループワーク)

第2回推進会議では第1回グループワークでの意見交換に加え、準備アンケートの結果を基に2つのグループに分かれ、未来に向けた施策について意見交換い発表を行った。

Aグループ

- ◆モノレールの誘致の有無により根底から変わるので、今の街並みを維持で議論
- ◆ハードは考えないで、商店街は今あるもの誰を呼ぶか⇒大きいものを作って観光客を呼ぶか・・・石橋では難しい
【イメージ】今をゼロにして更に良くする
自分達ために楽しいことを行い、外から見て参加していただく
- ◆大きな理念の方向性
 - ・下町は良いけど汚い危険⇒綺麗に！
 - ・まちを綺麗に⇒サンロードを何とか！
 - ・商店街条例、駐輪場⇒行政の力が必要！
 - ・学生・ファミリー、学生寮、阪大の授業⇒石橋で！
 - ・園芸高校のレストラン⇒駅前で！
 - ・ファミリー向けマンション⇒リノベーション補助、市営住宅の活用！

Bグループ

- ・駅で分断されている東西の道を結ぶ
- ・石橋南小学校の活用⇒子育て・教育に！
- ・隣接する子ども園の活性化
- ・石橋南小学校廃校でなく活用
- ・石橋会館・石橋駅前会館⇒整備活用
- ・市営住宅と跡地⇒ファミリー向けマンションと周辺道路の拡張が必要！
- ・小児科・産婦人科の増設
- ・石橋駅前再開発⇒176号、171号老朽化
箕面川など障害も多い
- ・箕面線の単線化⇒三角地の活用
- ・石橋南小学校区の高齢化、人口減少⇒教育
関連施設、教育関連機関の充実
- ・子育て世代の増加⇒勉強できる図書館

準備アンケート(1)

第1回推進会議終了後、第2回推進会議に向けて準備アンケートを配布し、「強み・弱み」に加え、「2030年の石橋」「解決要素(増やすべき・減らすべき)」「解決手法」について、取りまとめ第2回の基礎資料とした。

2030年の石橋

【活気あふれる街になっている】

教育の街を掲げているため、子育て世代の人口が増加し、子育て世代の住み良い街として、学力レベルも上がることにより、評判は広がり、商店街を中心に商業は活性化、特に近隣からの買い物客や観光客が増加し、賑わいを見せ、大阪国際空港からのアクセスの良さから宿泊客も増加し、駅が高架になり駅周辺が整備され、バスターミナルも出来て、老若男女の交流があり文化・芸術も充実した活気あふれる街になっている。

【衰退している】

高齢化により人口や定住者が減少し、一人暮らしの高齢者が増加し、認知症高齢者問題が増加、小学校の廃校などで活気がなくなり、地域のつながりが希薄になり、商業では、商人・物販が減少し、チェーン店が増加するとともに低価格の飲食店街化、商店街は生活圏としてのショッピングゾーンとしては衰退するか、機能できなくなる。また、すきまの多い街となり、サンロードの通行の危険度・事故が増えている。

【大きく変わらない】

北摂は、住宅地で、人気の場所なので交通の便等を考え、年齢層は多少変わっているが、人口は減少することなく変化はないが、定住者の割合は減り、ワンルームやアパート住人の割合が増加、石橋商店街の賑やかさも変わらない。

準備アンケート(2)

増やすべきもの

- ◆現状整備（路地を石畳）回廊づくり
- ◆駐車場・駐輪場(複数)、監視員
- ◆高速バス停留所、バス等ターミナル
- ◆自然 ◆再開発・道路拡幅
- ◆娯楽施設(ボウリング場等スポーツ関連)
- ◆モノレールの駅 ◆観光地
- ◆市外からの集客イベント
- ◆店舗案内所（検索） ◆宿泊施設
- ◆ファミリー向けマンション
- ◆子ども・産科・老人・認知症向け医療施設
- ◆家族・若者向け店舗 ◆飲食名物
- ◆商店街禁煙ロード ◆教育関連施設
- ◆子育てに役立つ施設 ◆図書館
- ◆受験・進学関連施設 ◆文化・芸術
- ◆子ども総合センター ◆地域間交流
- ◆子どもカルチャーセンター ◆子育て施設
- ◆建ぺい率・容積率の緩和
- ◆園芸高校移転と跡地利用

減らすべきもの

- ◆学生・子ども向けでない商業施設
- ◆パチンコ娯楽・風俗
- ◆サンロードの看板・植木・自転車
- ◆居住地域の区別
- ◆狭い通路
- ◆自転車・バイクの路上駐車
- ◆駆逐した空家
- ◆飲食・飲酒業
- ◆同業種の集積

解決方策

- ◆コンパクト構想の計画実行 ◆アクセスの整備（道路の新設・改良）
- ◆モノレール延伸と商店街と共存した再開発の目標
- ◆ファミリー向けマンションの整備（駅周辺・石橋南小・市営石橋住宅等）
- ◆子育て世代に優しい市全体の条例や施策 ◆子ども総合センター
- ◆子どもカルチャーセンター(阪大生による寺子屋事業)
- ◆サンロード看板等の警察・消防・市等が動き高齢者で取り締まる
- ◆歩道の一部を駐輪場にする
- ◆国道171号線高架下も視野に入れて現駐輪場は建替える
- ◆商売の活性化(阪大との連携) ◆社学連携
- ◆ノーマディアデーと家族での外食と商業連携
- ◆いしばし学園・きたてしま学園の施設一体型小中一貫校化
- ◆商売人とサラリーマン世帯の考え方を明確に環境整備
- ◆市の政策で街並みを守るための条例、特区制度で産業誘致、
- ◆趣味が無料で出来る集会場 ◆年齢に応じて遊べる施設(部屋)
- ◆学生が必要とする施設や制度 ◆学校の小中一貫化（一体型）
- ◆学生の活気による芸術・文化・サブカルチャーと支援制度
- ◆公共施設の見直し整備 ◆宿泊施設の整備
- ◆現状の石橋から便利・魅力を探し「人の集まる町」とする

第3回推進会議(第1回全体会議)

これまでの意見を確認し、地域の未来像について、3つのキャッチフレーズと3つの分類「駅周辺の魅力向上」「基盤となる商業・住環境の形成」「子育て・教育関連施設等の充実」の分類45項目について整理・統合を行い重要と思われることを整理した。

項目が多岐にわたり類似・関連項目もある

統合・整理

未来像に向けた施策の意見集約

駅周辺の魅力向上

15項目

統合・整理

基盤となる商業・住環境の形成

21項目

統合・整理

子育て・教育関連施設等の充実

9項目

統合・整理

意見集約

第3回全体会議で各項目を統合・整理し、主に「サンロードを中心とした駐輪・駐車対策」と「子ども・子育てなどを中心とした拠点となる施設の整備」の2つの意見が出された。

駅周辺の魅力向上

統合整理

駅周辺道路

サンロードを中心とした駐輪・駐車対策



駅まで歩くことに感じる金銭的負担、他の人も放置している心理的要因などにより、迷惑駐車・駐輪があり、歩行者の安全な通行が妨げられるだけでなく、駅周辺の景観が損なわれている現状、店前の自転車の客があるが、自転車の利用目的に応じて、長時間放置・短時間放置の混在、店のはみ出し、営業車両の進入により、高齢者や車椅子など通行の妨げになっている。石橋小学校の全生徒による「交通安全・自転車マナー向上ポスター」でPR等も行っている。

地域の市民団体や地元商店街等と一緒に、車や自転車利用者や市民に対し、車・自転車利用マナーの向上について呼びかけを行うなど、自転車等の放置防止にかかる啓発活動に加え、駐輪場等の利用状況を勘案して駐車場・駐輪場などの整備や罰則など、行政と地域住民、事業者、利用者が協働により、歩行者天国や禁煙ロードにするなど、サンロードを中心に綺麗にして下町の良さを出す新たな自転車等の対策が必要。

子育て・教育関連施設

統合整理

地域の拠点となる施設



子ども・子育てなどを中心とした拠点となる施設の整備

石橋商店街と大阪大学学生の有志による団体で、地域と大学をつなぐ様々な試みを行い、交流など活発に行われており、「クルルいしばし」では、阪大生によるボランティア的な「放パス」など子ども対象の様々なプログラムを実施しており、健康に配慮した保健師による健康相談も予定されている。また、「カルチャールームいしばし寺子屋」などでも子どもから高齢者まで幅広い講座などが実施されている。地域コミュニティ推進協議会においても子育て・教育などの事業が実施されている。

子ども・子育て・学生・それを見守る高齢者が交流する施設が必要

子ども・子育て・教育など関連施設の整備をすることにより、他市からの流入も考えられる。既存会館などの施設を利用するなど、効果的に整備することにより、乳児相談や発達相談も含め、幼児・子どもや学生・高齢者も利用できる施設の石橋駅前会館・石橋会館・図書館等を拠点として整備する必要がある。石橋南小学校は、既存建物を利用し、学生と子どもが集い、子育てから、学生による受験・進学などに有効な活用をすることにより、子どもと大阪大学生などの交流による教育の地域としても特化することができる。幼児や子育て世代を中心とした地域住民と学生との連携やそれを見守る高齢者など健康にも配慮した拠点づくりが必要。

第4回推進会議(全体会議)



第5回推進会議(全体会議)

第3回の全体会議の「サンロードを中心とした駐輪・駐車対策」と「子ども・子育てなどを中心とした拠点となる施設の整備」の内容確認と修正を行い、その他の意見も踏まえ、全体としての意見を石橋地域のまちづくりの方向性として意見集約を行い第5回推進会議で最終確認を行った。

主な中・長期的な展望項目の確認

全体としての短期・中期・長期があるが、地域として必要とする内容の整理



石橋地域のまちづくりの方向性

